



環境科学科1年生



SSH先端科学講座（数学）を実施しました！

12月22日（月）、環境科学科1年生を対象に「SSH先端科学講座（数学）」を実施しました。『面白い（かもしれない）数のおはなし』

と題し、和歌山大学教育学部准教授の北山秀隆先生にご講演いただきました。イントロダクションとして数題のクイズから始まりました。徐々に難易度が上がるクイズにも生徒たちは怯むことなく果敢に挑戦し、我先にと解答を競っている様子でした。ラマヌジャン、ペレルマン、フィボナッチ、コラッツ、ソフィ・ジェルマンなどなど、様々な高名な数学者の名前が登場し、好奇心は大いに刺激されました。幾つかの未解決問題も紹介され、それに対して生徒たち自身で確認する作業も行われました。その作業を通じて、数学の研究は高校生にも可能で、研究材料は身近な数字の中に隠れているということを学びました。ワクワク感に満ちた45分×2の素敵な時間は、あっという間に過ぎ去りました。未来の数学者が、ここから誕生することを期待したいと思います！



SSHの横断幕（宮街道側）と看板（正門側）を設置しました！



宮城県仙台第三高等学校にて教科等横断型授業「サイエンス」×「古典」を実施しました！



12月17日（水）、宮城県仙台第三高等学校で「SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラム」が開催され、本校の谷地祐介教諭（理科）と山本玄教諭（国語科）が招聘講師として研究授業を行いました。研究授業では「サイエンス」と「古典」を融合した教科等横断型授業を行いました。テーマは「古文からSAGURU（探る）☆」。教科間のつながりを考えたり、教科と探究を切り分けずに考えたりするきっかけとし、今後の課題研究につなげることができるよう授業を行いました。

以下、生徒の皆さんの感想です。

- これまでは各教科をそれぞれ単体のもののようだったため、お互いの関連性を感じることは少なかったが、今回の授業を通して、各教科は互いにつながり合っている素晴らしいのだと気づいた。
- 私たちがまだ生まれてもない世界の中でもそれらが活用されており広く知られているという事実を今回の授業で強く理解できた。科学の広大さには凄くわくわくさせられた。
- 今回の授業のように多面的な視点を持ちながら物事をみると今までなかったような発想やアイデアが浮かんでくる気がして探究がすごく楽しみになりました。